

# 別府金山と

## ラクテンチの歴史をひもとく

外山 健 一

はじめに

九州の宝塚と呼ばれた「鶴見園」開園は大正一五年二月四日、これに遅れること昭和四年九月三日、ケーブルカーが開通した。

別府名所の一つ「ラクテンチ」は、私の子ども頃は、「ケーブルカー」と呼んでいた。ここが流川通の終点である。当時の亀の井自動車、少女車掌の説明では次のようなことになる。

「向こうに近き乙原の、あの高台はその高さ、二百八十余メートル、上りて下るケーブルの急勾配と直線と、最短距離の特色は、我が日本にたぐいなく、わずか三分たぬまに、登りつくせば遊園地、別府名所でございます。プPPER」。

併し、地獄の沙汰も金次第というのが、地獄の噴気の下から金が出たのがラクテンチである。

別府金山からケーブルカー、ラクテンチの歴史を探ってみ

たいと思う。

### 一・大分県内の金鉱山

別府金山の冒頭、大分県内の金山についてふれておきたい。大分県は金の宝庫と言っても過言ではない。下記表のとおり、かつては数多くの金鉱山が存在した。しかし現在そのすべてが廃坑となっている。馬上金山の金鉱品位を例に挙げれば、金鉱の品位（鉱石に含まれる金銀の割合）は、平均して鉱石一トン中に約二〇グラムから三〇グラムであった。

国内で唯一、鹿児島県伊佐市の菱刈鉱山が採掘を行っているが、その品位は、平均約四〇グラムという高品位である。別府金山の品位は定かではないが馬上金山と同程度の品位であったと推察される。

### 記

大分県金の採掘鉱山一覧表

鉱山名	種別	所在
鯛生鉱山	金、銀、亜鉛、磁鉄鉱	日田郡中津江村合瀬
尾平鉱山	金、銀、銅、錫、砒素、アンチモン	豊後大野市緒方町

上野田鉾山	上津江鉾山	大分鉾山	殿尾鉾山	岩崎鉾山	金光鉾山	中島鉾山	柚木山鉾山	天狗岩鉾山	赤岩鉾山	大鶴鉾山	小野鉾山	玉来鉾山	照国鉾山	草本鉾山	国徳鉾山	馬上鉾山	大峰鉾山
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金	金、銀	金、銀	金、銀、銅、アンチモン	金、銀、銅、アンチモン	金、銀
日田郡上津江村	日田郡上津江村	日田郡中津江村	日田郡中津江村	日田郡中津江村	日田郡中津江村	日田郡前津江村	日田郡前津江村	日田郡前津江村	日田郡中川村	日田郡大鶴村	日田郡小野村	日田郡小野村	日田市鈴連町	下毛郡山国町	速見郡山香町	下毛郡山国町	速見郡山香町

◎

薫石鉾山	船鉾山	新馬上鉾山	昭和鉾山	瑞穂鉾山	永石鉾山	藤山鉾山	鶴成鉾山	別府鉾山	向野鉾山	宇佐鉾山	山国鉾山	溝部鉾山	旭鉾山	明賀野鉾山	金鉢鉾山	鯛生溝部鉾山	彦山鉾山
金	金	金	金	金	金	金	金	金、銀	金、砒素	金、重晶石	金、銀、銅	金、銀	金、砒素	金	金	金	金
山香	山香	山香倉成、山戸原	山香倉成高平	山香内河野	山香永石	山香の速内など七集落	鶴成中村	別府市雲泉寺(原町)	速見郡山香町向野	宇佐郡院内町	下毛郡山国町	下毛郡山国町	中津市	中津市	中津市	中津市	中津市

松尾鉦山	金	山香
大月鉦山	金	山香
山口鉦山	金	山香小武山口
山浦鉦山	金	山香山浦志賀谷
日の出鉦山	金	山香山浦原
大高鉦山	金	山香山浦定野尾
日野地鉦山	金	山香向野日野地

## 二. 産金王木村久太郎

明治三〇年頃、当時台湾の大金山、牡丹鉦主として知られた東京の木村商事社長の木村久太郎は、台湾の金山でケガをして別府に療養入湯にやって来たさい、現在のラクテンチ下北側の一の出一帯に金鉦脈があると狙いをつけ試掘した結果、良質の金の鉦脈を掘り当てた。

以下『別府市誌』抜粋（昭和八年）

「別府地区は、現代地貌の成生より觀れば、古成紀層以降各世紀地層と、新古火成岩上の混淆地帯に属し、地区内各温泉の定性定量分析の結果に徴すれば、別府地区が各種各様の単純鉦物乃至化合物鉦物を包含せる事實は、之を推知するに難

からざる所なり。然りと雖も、其の大部分が温泉地帯に属し、地層概ね冷温雨水脈の参差錯綜するものがあるが為め、鉦物の採掘に甚だ便ならざる事情あり。

仍て、別府地区の鉦業は甚だ振はず、従つて近代の稼業に係るものは単に木村商事株式会社（東京市芝区芝浦町二丁目三番地）の経営に属する別府鉦山（大字別府字朝見）の金銀坑あるのみ。

同社は其の出張所を別府市雲泉寺に置く。明治三六年七月一日の創業にして、採掘登録第七一号七万六千六百七〇坪竝に同第一二号二六万九千七百九坪の両口とす。爾来稼業実に二〇余年、製煉法は「混汞」及び「青化法」を用い、創業年度の金産額は、僅に二百九十七匁一に過ぎざりしに、逐年事業の隆盛を来し、大正二、三年度に至りて其の最高潮に達す。既ち大正二年度の金産額五貫二百一八匁七五、銀産額一〇貫二百二十九匁七一、大正三年度の金産額五貫二百一〇匁三八、銀産額九貫七百一三匁一一に達す。

現下同地に於て遊園地新設計画進行中なるよりも、一時稼業を中止す。

鉦業権所有者は社長木村久太郎、技術管理者は別府所長山崎権市なり。」

別府鉦山は、明治三六年七月一日から大正五年九月の閉山までの間、金、銀を産出したが、その産出額は下記のとおりである。

別府鉦山の開発者、木村商事株式会社社長木村久太郎の略歴は次のとおりである。

慶応三年九月一九日、鳥取県西伯郡境町相生町九番地にて出生する。

八男として生れたが、上に一女あり、九人目になることから久太郎と命名された。

四歳（明治三年）の時に防砂堤流失から受けたはじめての感動、九歳の頃勉学のための米子通い、一六歳で早舟の漕手となる。

一九歳で郷里を出て以来、土工から土木請負師時代、渡台、それから台湾牡丹坑金山、基隆地方の炭硯事業、太平洋炭硯と日本ヒューム、コンクリートの創立、失敗に終わったとはいえ、石油事業や石炭液化の先鞭着手、昭和金山の開発経営、全盛時代に買求めた「別府金山」を採掘する。

一代で起業した会社は、

（国内）

別府鉦山金銀産出額

年次	金産出額		銀産出額	
	貫	匁	貫	匁
明治36年	297.10	1.11	0	0
明治37年	657.89	2.46	2,120.40	7.95
明治38年	761.14	2.85	1,134.38	4.25
明治39年	2,338.83	8.76	1,673.51	6.27
明治40年	1,073.70	4.02	2,362.40	8.85
明治41年	1,623.68	6.08	2,391.07	8.96
明治42年	1,628.73	6.10	4,613.23	17.29
明治43年	3,512.52	13.17	7,611.83	28.54
明治44年	4,697.22	17.61	7,999.93	29.99
明治45年 大正元年	4,019.87	15.07	7,249.48	27.18
大正2年	5,218.75	19.56	10,229.71	38.35
大正3年	5,210.38	19.53	9,713.11	36.42
大正4年	4,832.28	18.12	6,581.04	24.67
大正5年	2,387.28	8.95	4,881.94	18.03
計		143.39kg		256.75kg



木村商事社長 木村久太郎

太平洋炭硯株式会社

東邦炭硯株式会社

木村商事株式会社

第一土地建物株式会社

日本ヒューム、コンクリート株式会社

内外ビルデング株式会社

釧路臨港鉄道株式会社

(台湾方面)

基隆炭硯株式会社

台陽鋳業株式会社

金瓜石鋳業株式会社

又、木村久太郎は、別府市大字別府字北町下五百八十一番地（現、別府市元町一六、波止場神社横）に明治三十七年一月一八日から同四一年七月一五日まで居を構えていた事も判明した。

昭和十一年一月二二日、七〇歳で没する。

鶴見山總持寺の境内に眠る。

法名「久寶院殿基山仁勇居士」

### 三．金採掘の痕跡

平成二六年二月八日、別府市乙原二組、元市議会議長村田政弘（大正一二年六月一五日生）宅を訪問し、別府鋳山の坑口の位置や、当時の別府鋳山従事者の話を伺った。（村田氏は平成二六年八月二六日他界）

話によると、村田氏の父村田寛蔵が別府鋳山の坑夫をしていたので、父寛蔵から聞いた事柄も教えていただいた。

村田政弘氏が語った別府鋳山の坑口は添付図面のとおりである。

又、別府鉦山従事者は最盛期二〇〇人程働いていたが、地元関係者で確認出来た人は以下のとおり。

故村田寛蔵（坑夫） 別府市議会議員を昭和七年から一期務める。村田政弘の父。

故村田伴蔵（坑夫） 村田寛蔵の弟

故後藤勘吾（坑夫）

故加藤市郎（坑夫）

故下岡止吉（坑夫） 自宅に鉦石で塀を造っている。

故片岡岩吉（坑夫） 別府市消防団長片岡典之の祖父

故門永忠雄（経理）

故加藤澤吉（専務）

故白川隆彦（支配人）

さらにラクテンチの土地（地番）をランダムに選び、次の二筆について旧土地台帖による土地所有権を調べた。

別府市大字別府字雲泉寺三五八七番

土地所有権取得年月日	所有者
明治二四年一〇月一四日	濱崎八重太郎

明治三一年 八月 三日	濱崎繁太郎
◎明治三六年一〇月二六日	木村久太郎
昭和一二年一〇月二一日	木村国太郎
昭和一五年一月二六日	木村國太郎（表示変更）
昭和一五年一月二六日	白川隆彦
昭和二五年 四月二七日	農林省
昭和二六年 九月一〇日	加藤市郎

注：旧土地台帖

明治から昭和二五年まで税務署が所管していた土地台帖を昭和二五年に法務局（登記所）に移管された。

別府市大字別府字雲泉寺三五九〇番

土地所有権取得年月日	所有者
明治二九年一〇月 六日	早崎寛太郎
明治三五年 一月二九日	早崎伊作
◎明治三六年一〇月二一日	木村久太郎
昭和 八年 三月 一日	別府遊園鋼索鉄道株式会社
昭和一九年二月 二日	別府鋼索鉄道株式会社



◎別府鉾山の坑口（村田氏の証言による）

昭和一九年二月 二日	陸軍省
昭和二二年 七月二三日	大蔵省
昭和二五年一〇月 一日	別府国際観光株式会社

以上の事から、明治三六年に木村久太郎が別府鉾山の用地取得したことが確認できる。

#### 四、ケーブルカー敷設<sup>ふせつ</sup>

別府鉾山は、地下約四〇〇メートルあたりで温泉の噴気に悩まされ、大正五年九月に操業を中止した。

木村久太郎は、この金山を締めきれず、大正二二年に採鉾



別府鉾山の水平坑の跡  
昭和42年9月

技師山崎権市を派遣して再開を図ったが、地元の有志や市議会などが、温泉が涸れると言って大反対し、鉾山監督局からも中止と言われ、山崎権市は会社に金採掘を諦めるように説得した。

金を掘らなくなった後、山崎権市はせっかく第二の故郷と決めた別府だから何か町の発展に役立つ事業をしたい、夢のある事業をしたいと考え、木村所有の土地の平地部に一大遊園地を建設する方針で、木村社長の了解を得ようと何度も

上京していき、兵庫県神戸摩耶鋼索鉄道がケーブルカーを大正一四年一月六日完成、これに着目し、それを見て急にケーブルカーを



別府鉾山の製錬所跡  
昭和42年9月



思いたった。

しかし、昭和の金融恐慌ですべての金融機関がパニックになつていた時代に資金に苦勞した。

ケーブルカーは、投下資本の多い割合に収益は少いが、最初はケーブルカーだけで約七万五千円程度のもを造る計画だったのが、土地の買収、温泉や食堂その他の施設で莫大な費用を投じることになる。

出資者は、木村久太郎一〇万円、山田英三（広島の素封家、夫人のため保養所として昭和五年に山田別荘建築）一〇万円、西賀次太一〇万円、合せて三〇万円の資本金で出發した。

以下『別府市誌』抜粋（昭和八年）



ラクテンチの金鉱石の塀（平成26年）  
坑夫、故下岡止吉宅 中島町22-13

「ケーブルカーは急傾斜地の交通機関として、夙に歐米に於て慣用されたり。東洋に於ては英領香港のピークデヤに設備されたるケーブルカー世に著聞し、最近我が邦に於ては、神戸背後の摩耶山ケーブルカー最も人口に膾炙す。大分県下にては、明治四三年、大分築港工事着手の際石材採取のため、別府市境川河畔に沿い、海岸より石垣原に至る斜面にケーブルレールを敷設したることあるも、永久的設備としてのケーブルカーは実に別府市乙原なる別府遊園乙原停車場竝に山麓雲泉寺停車場の間に敷設されたるものを以て嚆矢となす。

是より先伯耆國境町の人、別府鉦山坑主、木村商事株式会社社長木村久太郎は、別府泉都が天然の形勝に富むに係らず、人工的娛樂機関の缺如せるを慨し、個人経営にて別府市乙原丘に別府遊園の創立を企て、大正一四年六月三日功を起し、昭和七年度に及び完成したり。

ケーブルカーは、同遊園地の頂上に到る唯一の交通機関として、企画されたるものにして、大正一五年二月一九日を以て、別府遊園地ケーブルカー軌道敷設を願したるに、昭和二年三月一六日免許状の下附あり、昭和三年五月三十一日、工事施行認可を得たるを以て、同年八月一日起工、昭和四年八月完成す。索道延長二六五メートル、高程一二八メートルに

して、索道面の傾斜角度三〇度五五パーセント八九即ち二分の一強の勾配なり。

鋼索は、英國製に係り、直径二一ミリメートルとす。一切の機械は、瑞西國（スイス）ギセライル・ペルン・カンパニーの供給する所にして、同所技師イー・リーゼン一切の建設を擔當す。

捲揚機馬力は三三、動力は九州水力電気株式会社供給する所に係る。雲泉寺停車場の海拔五一メートル二〇、乙原停車場の海拔は則一七九メートルなり。

客車運轉に関する要項左の如し。

客車 二台 座席二〇人

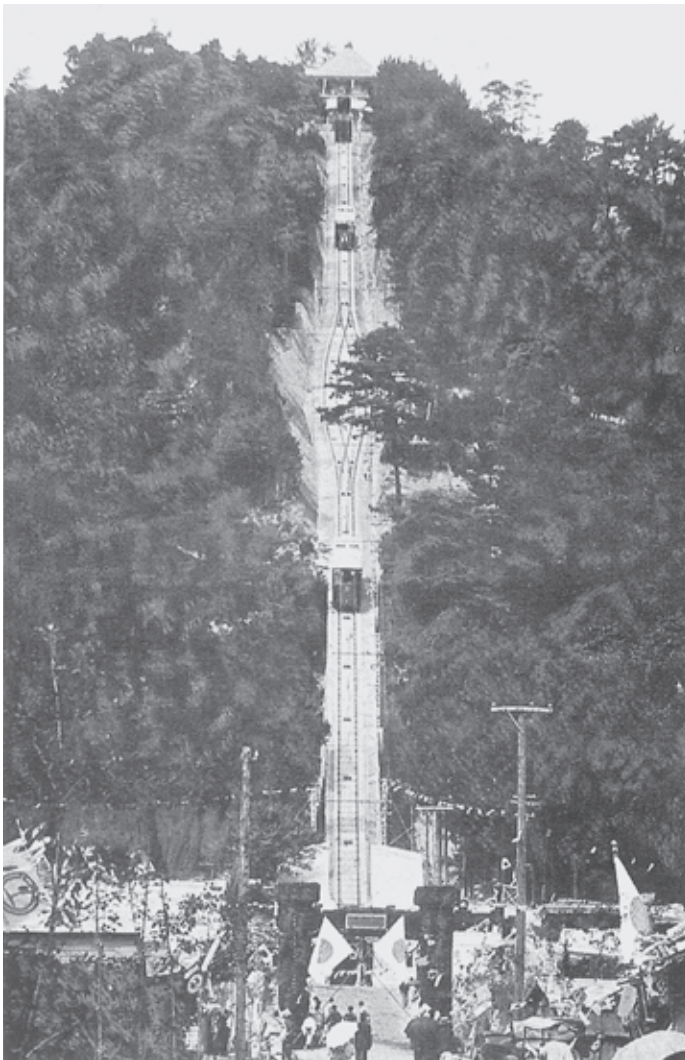
満員四〇人迄

運轉時間 一回三分より五分間

乗客予定人員 一日平均六〇〇

人

ケーブルカーの立案者、山崎権市は、明治二二年、佐賀県武雄市



別府ケーブルカー開通（昭和4年9月3日）

の生まれで、家庭が貧乏であったことから苦学して働きながら、現在の芝浦工大の前身の東京工手学校を卒業した。卒業後、飯塚の住友合資会社の忠隈炭鉱に入社。四年後に内務省に入り、福岡鉱山監督局に勤務する。

日清戦争で台湾が日本の領地になったあと、一〇年後に内地へ戻る約束で台湾に渡り、キールンで金鉱の事業をしてい

た木村久太郎の会社、木村鋳業所（キールンの牡丹坑金山）に入社する。

ところが、木村久太郎は台湾で成功したものの、将来、大きい仕事をするにはどうしても東京へ乗り出して活動したいという雄志を抱き、キールンの金山、炭鉱を大倉組、三井資本に譲って、本社を東京に移したので、山崎権市も東京に引き上げた。大正一二年に木村鋳山別府出張所長として赴任した。別府市流川一五丁目（中島町二二一九）に居を構えた。

ラクテンチ、ケーブルカー乙原停車場前の通称「丸山」乙原稲荷大明神の横に、遊園地創設者、「山崎翁」の胸像がある。

山崎権市は文化人でもあり、

### 日本のケーブルカー開業年次

県名	所在	開業年
奈良県	生駒鋼索鉄道	大正7年（1918）8月29日
神奈川県	小田原電気鉄道	大正10年（1921）12月1日
奈良県	信貴生駒電鉄	大正11年（1922）5月16日
兵庫県	神戸摩耶鋼索鉄道	大正14年（1925）1月6日
大分県	別府ラクテンチ、ケーブルカー	昭和4年（1929）9月3日

### 豊州新報 昭和4年9月4日付

## 別府乙原の ケーブルカー開通式

### 三日盛大に舉行され いよいよ運轉を開始す

別府市の遊園地乙原山ケーブルカーの開通式は三日午前八時より開始されたがケーブルカーは午前八時より運轉を開始し一般招待客に試乗せしめた後正午より別府市公會堂に於て開通式を舉行し山崎権市市長、木村久太郎氏の式辭があつて山崎氏の試乗報告本山知事府市長、山田別府市長、平山源田宗禰寺長、山根門寺住持、宇都宮則綱地元代表、渡崎鐵夫氏等の式辭があつて閉會され午後二時別府市公會堂の手續等があり午後二時より落下食堂に於て開會、市長の挨拶、知事代理、内務部長の謝辭があつて後、毛井別府市會議員

の發議にて、内務部長が木村社長萬歳を三唱、木村社長が別府市の萬歳を三唱し午後二時半散會したるが出席者は五百餘名にて非常な盛會であつた

昭和九年ケーブルカーの歌作詞、ケーブル国境節、ケーブル都々逸などで活躍した人物である。昭和三七年別府市中島町で死去、享年八三歳であった。

工事費 約一五万円

(経緯)

大正一五年 二月二〇日 鉄道省の鉄道敷設の免許を受け  
る。

昭和 四年 九月二二日 「別府遊園地索道」雲泉寺～乙原  
間営業

昭和 二年 三月一六日 木村久太郎に対し鉄道免許状下付

昭和 四年 九月二二日 戸川熊本通信局長から通信省の認  
可を得ていないことを指摘され一  
時休止となる。

される。

昭和 四年 九月二五日 通信省の許可を受ける。

昭和 四年 八月二日 ケーブルカー竣工。

昭和 五年 五月 会社設立。

昭和 四年 八月二八日 鉄道省のケーブルカー運行の許可

昭和 五年 九月七日 「別府遊園鋼索鉄道」に社名変更。

を受ける。

昭和一〇年 「別府遊園」を「別府ケーブルラ  
クテンチ」に名称変更。

昭和 四年 九月三日 ケーブルカー「開通式」(現地)

同日午後、別府市公会堂に地名士

昭和一九年 不要不急線として休止、鉄の供出

五〇〇余人を招待し「開業式」を  
挙行。

のためレールが撤去され車体の金  
板も剥がされた。

〈ケーブルカー運賃〉

昭和二五年 六月一六日 「別府鋼索鉄道」により運行再開。

大人(往復) 三〇銭

昭和二九年二月二〇日 「別府国際観光」に譲渡。

大人(片道) 二〇銭

平成一五年一月一日 遊園地とともに大阪市の遊具機械

子供 半額

製作メーカー「岡本製作所」に譲

渡。

#### 参考文献

- 平成一五年一月二五日 改装のため休業。  
平成一六年 三月二一日 遊園地再開とともにケーブルカー  
運行再開。「ワンダーランドラク  
テンチ」に名称変更。
- 平成二〇年 八月一八日 ケーブル線を含む「別府ワンダー  
ランドラクテンチ」事業を「九州  
観光ホームムグループ」に譲渡する  
ことで両者が合意。
- 昭和二〇年一月五日 事業譲渡計画、白紙撤回。  
平成二〇年二月一日 「別府ワンダーラクテンチ」休園。  
同時にラクテンチケーブルカーも  
運休。
- 平成二二年 七月一八日 「ラクテンチ」再開。同時にラク  
テンチケーブルカーも再開。名称  
を「ラクテンチ」に戻して営業。
- 『日本鉱山誌』日本地学協会 昭和三四年  
『石炭評論』木村久太郎著 昭和三〇年七月  
『日本の創業者近現代起業家人名事典』紀伊国屋書店刊 平  
成二二年
- 『近代日本経済人大系』松下伝吉著 平成一五年  
『大分県地下資源史考』久多羅木儀一著 昭和二六年九月  
『別府市誌』別府市教育会 昭和八年八月二五日  
『山香町誌』山香町誌刊行会 昭和五七年三月三二日  
『別府近代の宝庫』大分みらい信用金庫 平成一四年四月  
一二日
- 『乙原の今昔』村田政弘著 平成二〇年三月九日  
『木村久太郎翁』野村愛正著 昭和一三年  
『今日新聞』岩屋 護 昭和二二年一月七日  
『今日新聞』壇上 栄 昭和四二年九月七日